

業務の名称	令和4年度 東京国際空港空港アクセス鉄道開削部（P3 駐車場前）躯体築造工事に係る技術協力業務
業務概要	計画準備、協議・報告、技術協力業務（技術提案の技術情報等の提出、その他の技術情報等の提出、設計調整協議、設計の確認、施工計画の作成、全体工事費の算出、関係機関との協議資料作成支援）、報告書作成
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局副局長 石橋 洋信 神奈川県横浜市中区北仲通 5-57
契約年月日	令和4年8月2日
契約業者名	清水建設（株）土木東京支店
契約業者の住所	東京都中央区京橋 2-16-1-10
契約金額	9,900,000 円（税込み）
予定価格	10,758,000 円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>東京国際空港空港アクセス鉄道開削部（P3 駐車場前）躯体築造工事は、P3 駐車場前面部において、開削工法により、「羽田空港アクセス線」の駅ホーム部の躯体を築造するものである。</p> <p>本工事は、我が国で最も利用者が多い東京国際空港において、一般車両や路線バス、タクシー等が多く通行する空港内の道路を搬出入路として使用し、道路直下に躯体を築造するものであるため、工事による空港利用者への影響を最小限にすることが前提となる。特に、施工箇所となる道路は空港内移動や駐車場の出入りに利用されており、道路の通行や駐車場への出入口を確保することが求められている。</p> <p>また、土留工は P3 駐車場、国道 357 号等に囲まれた狭隘な区域での施工となることに加え、開削施工時には高低差による偏土圧の影響等が想定されるため、P3 駐車場をはじめとする近接構造物に影響を与えないよう、安全・確実に施工する必要がある。</p> <p>その他、施工箇所は東京湾の浚渫土や建設残土により造成された超軟弱地盤を地盤改良した複雑な地盤であるため、地盤改良の確実な施工をはじめ、様々な施工リスクへの対応も必要である。</p> <p>以上のように本工事は技術的難易度が高く、詳細設計において施工者の高度で専門的な知見を活用する必要があることから、技術提案・交渉方式の技術協力・施工タイプを適用し、躯体築造工事に関する技術提案を求めた。</p> <p>選定にあたっては、「①空港内の道路交通への影響の最小化に有効な施工方法の提案」、「②狭隘な施工エリアにおける安全・確実な土留め施工方法の提案」、「③想定される施工リスクの抽出と対応方法の提案（土留め施工に関する事項を除く）」「④施工期間の短縮及びコスト縮減に有効な工法等の提案」及び「技術協力業務に関する実施方針」について、技術提案書を審査した結果、事業目的達成のために総合的に評価の高い技術提案を行った清水建設株</p>

	<p>式会社を優先交渉権者として選定したものである。</p> <p>本業務は、優先交渉権者の技術提案を詳細設計に反映させるための技術協力業務であり、清水建設株式会社が業務の履行が可能な唯一の者である。よって、会計法第 29 条の 3 第 4 項の規定に基づき清水建設株式会社と随意契約を行うものである。</p>
業務場所	—
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和 4 年 8 月 2 日
履行期間（至）	令和 5 年 3 月 10 日
備考	